

令和3年度（2021年度） 指定管理者業務実績シート

作成年月日 令和4年6月24日

部	教育委員会生涯学習部	課	スポーツ振興課
---	------------	---	---------

施設名・所在地	函館市民スケート場 函館市金堀町10番8号		
設置条例	函館市民スケート場条例		
指定管理者名	公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団	指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間
指定管理者の特別な要件		選定区分	公 募
設置目的	スポーツの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与するため		
設置年月	令和3年12月	建設費	
構造規模等 耐用年数	市営函館競輪場内 スピードスケートリンク、サブスケートリンク 管理棟（事務室、物品庫、トイレ等）		
開館時間 休館日等	供用期間 12月第2土曜日～2月第3日曜日 供用時間 平日12時～19時、土日祝等10時～19時 休場日 12月31日、1月1日		
料金体系	☐ 利用料金制の採用の有無 無し 一般 600円、生徒（高校生）300円、児童生徒 200円 （20人以上の団体の場合）一般 480円、生徒（高校生）240円、児童生徒 160円		
1 指定管理者が行う業務の内容および実施状況 (1)管理業務 ア 施設の維持管理に関すること(清掃、施設・設備保守点検、修繕、備品管理、敷地内管理) イ 使用の許可および制限に関すること（使用受付・使用許可・使用不許可、使用条件の変更、取り消し等） ウ その他教育委員会または指定管理者が必要と認める業務（施設運営、災害時対応、計画・報告等） エ スポーツを振興する事業の実施に関すること（小学生のための初心者スケート教室など） (2)委託事業 ア 函館市民スケート場使用料収納事務委託 (3)自主事業 ア スケート靴および用具の貸出し事業			
2 市民サービス向上のためのその他の取り組み実績 ア 広報誌「ステップ・アップ」、ホームページによる広報活動 イ 接遇等研修の実施			

3 市民ニーズの把握の実施状況

ア 利用者アンケートの実施

4 施設の利用状況

・令和3年度の月別利用者数 (単位:人)

	12月	1月	2月	合計
利用者数	8,174	10,256	2,862	21,292

・年度別利用者数

← 当期指定期間 →

	令和3年度
利用者数	21,292人
使用料収入	5,860,260円

5 指定管理者の収支状況

← 当期指定期間 →

(単位:円)

		令和3年度
収入	委託料	65,272,336
	その他	1,113,547
	計	66,385,883
支出	人件費	8,488,406
	燃料費	6,407,061
	光熱水費	17,432,583
	修繕費	270,494
	委託料	23,044,533
	賃借料	426,404
	その他の支出	9,317,305
	計	65,386,786
当該施設の利用者一人当たりの税金投入コスト		2,790

6 モニタリングの実施状況および指定管理者に対する改善指示等の実施状況

- ・ 実地調査の実施 ☒ 有 ・ 無

ア 管理業務実績報告書を毎月提出, 事業報告書を年次提出

7 指定管理者に対する評価

① 指定管理者の自己評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	☒ A ☐ B ☐ C ☐ D	業務の履行にあたっては、協定書を遵守し、事業計画書および仕様書で定めた水準以上の取り組みを行い、適正な管理運営に努めたほか、初心者を対象とした教室や誰もが楽しめるイベントを開催し、冬季スポーツ振興に寄与した。	設置目的である「スポーツの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達」に寄与するため、施設の維持管理に努めるとともに、利用者の安全・安心を確保していきたい。
サービスの 質の状況	☒ A ☐ B ☐ C ☐ D	職場内研修など、職員の資質向上に努めているほか、利用者の声を聴き、ニーズを把握し、サービスの向上に努めている。	今後も職員の資質向上に努め、市民に親しまれる施設を目指し、サービスの向上に努めてまいりたい。
団体の経営 状況	☒ A ☐ B ☐ C	経費削減に努め、収支の適正な処理をした。	今後においても、事業収支および経営状況とともに、よりいっそう適正に行うとともに、安定した事業運営に努めてまいりたい。

② 市の指定管理者に対する実績評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	☐ A ☒ B ☐ C ☐ D	業務の履行について、協定書を遵守し、事業計画および仕様書の水準どおり行われた。また、児童生徒を対象とした初心者向け教室の開催により、冬季スポーツの振興が図られた。	今後も施設を活用した事業展開によるスポーツ振興に努め、市民の方々に親しまれる施設を目指していただきたい。
サービスの 質の状況	☐ A ☒ B ☐ C ☐ D	職場内研修など、従業員の資質向上に努め、利用者に配慮された施設づくりがなされた。	今後も従業員の資質向上や利用者のニーズの把握に努め、より親しまれる施設を目指していただきたい。
団体の経営 状況	☒ A ☐ B ☐ C	経営状況に問題はなく、事業収支が適正であった。	今後も経費節減などにより、安定した事業運営に努めていただきたい。

- ◎「業務の履行状況」「サービスの質の状況」
- A 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準以上がなされている。
 B 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準どおり行われている。
 C 協定書の遵守しているが、事業計画書及び仕様書の水準をやや満たしておらず、課題がある。
 D 協定書や事業計画書に不履行がある。または、業務水準を満たしていない。
- ◎「団体の経営状況」
- A 事業収支、経営状況に問題はない。
 B 事業収支、経営状況の今後に注意を要する。
 C 事業収支、経営状況に早急な改善を要する。